

溝上慎一の教育論(動画チャンネル) No405  
(次期学習指導要領にむけた審議まとめの方向性)

## ②補足 高次の資質・能力の上限を定めよ — 単元を超えるか否か —

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長  
桐蔭横浜大学 教授

<https://smizok.com/>  
E-mail [mizokami@toin.ac.jp](mailto:mizokami@toin.ac.jp)

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。  
\*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。

※公益財団法人電通育英会の研究委託を受けて行われています。

※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

## 審議まとめの方向性

- ①「個別最適な学び」は次期学習指導要領のどこに落とし込まれるか
- ②「中核的な概念」の深い理解から「統合的な理解」「総合的な発揮」へ、最後の問題点は？
- ②補足 高次の資質・能力の上限を定めよー単元を超えるか否かー
- ③ 総合的な学習・探究の改善点ー情報教育とのカップリングからマイ探究（個人探究）へ
- ④ 学習評価（観点別評価）ー学びに向かう力・人間性等を各教科等の個別水準で見取れる形式を示せるか？
- ⑤ 高校にとっての柔軟な教育課程ー義務教育段階での施策とのズレをどのように埋めるか

**No404**

## ②「中核的な概念」の深い理解から 「統合的な理解」「総合的な発揮」へ、 最後の問題点は？

ここを押さえよう！

次期学習指導要領にむけた審議まとめ  
の方向性(全5回シリーズ)

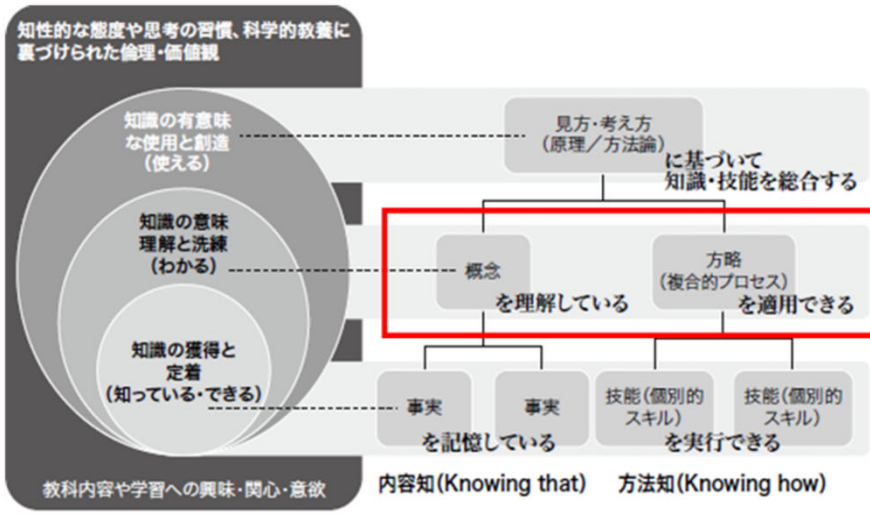


# 高次の資質・能力の「高次」はどこまで？

統合的な理解  
総合的な発揮

深い学び

高次の資質・能力



考え方 1

高次の資質・能力は  
中核的な概念層まで

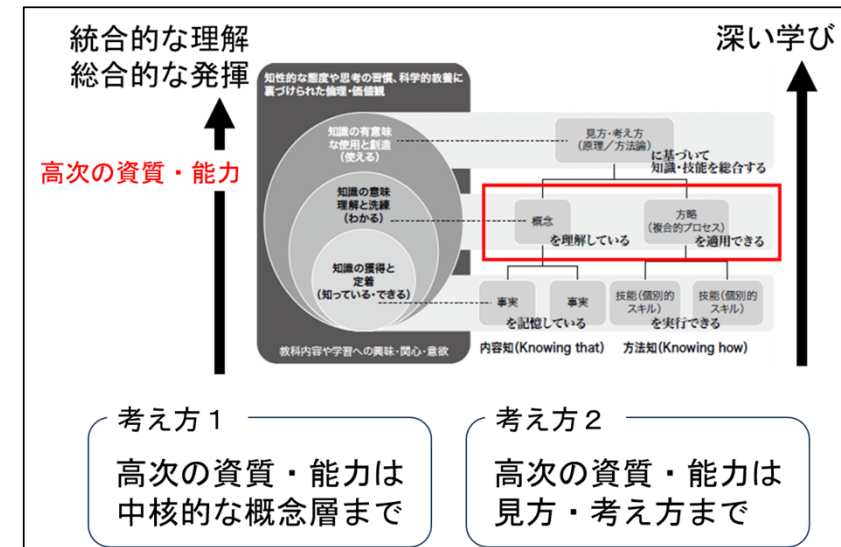
考え方 2

高次の資質・能力は  
見方・考え方まで

## 補足

・溝上「改訂審議の作業で重要なのは、単元における高次の資質・能力（統合的な理解・総合的な発揮）を学習評価の対象とすべきであり、見方・考え方それ自体を学習評価の対象にしない。学習指導要領というのは単元学習を「見方・考え方」に向かって目標、指導法、評価などの観点からガイドすることであり、**単元を超えた議論をここではしない方がいい。**

- ・委員「教科の本質は単元を超えることだ」
- ・溝上「?・・・」



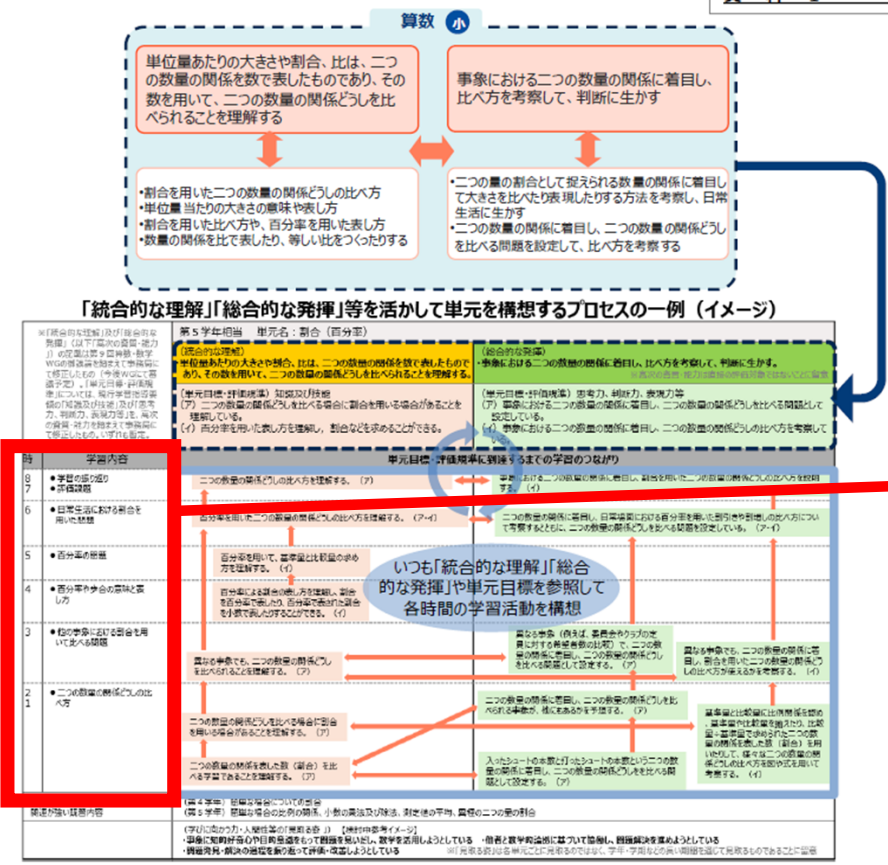
教科の本質は「見方・考え方」である

# 単元(学習)とは何か

## 単元構想に向けた「統合的な理解」「総合的な発揮」の活用イメージ

令和8年6月1日  
教育課程部会  
総則・評価特別部会  
資料 1 - 4

- 5年生の「割合」の単元で「深い学び」を実現するためには、どうやって単元構想をすればいいかな。
- まずは、第5学年の「割合」の単元で育成すべき資質・能力を確認しよう。「統合的な理解」「総合的な発揮」と単元目標を見比べると、「割合」の学習が、将来、どんなことを理解し、どんな思考ができるようになるためにあるのかわかるな。
- 各時間で育成する資質・能力や学習活動が、「統合的な理解」「総合的な発揮」や単元目標につながっているか心配だな。
- 右のような単元構想図を使って、単元での資質・能力の「深まり」や「一体的育成」のイメージを把握した上で（赤矢印）、各時間で育成する資質・能力を理解し、学習活動を構想することが重要なんだな。



- (例)
- ・ 小学校算数「割合」の単元
  - ・ 8時間で構成

※この後は、単元の評価計画を検討したり、各時間の授業計画を行う。  
 ※「統合的な理解」「総合的な発揮」等を活かして単元構想を行う際の思考プロセスを明確にするために作成しているイメージであり、各教師に常に参考イメージを示した資料を作成することを求める趣旨ではないことに留意。教科書会社が編集に当たってこうした整理を行ないながら教科書を編集し、指導書等でその構造を示していくことで、経験の浅い教師でも資質・能力を関連付けて深めていく授業づくりが徐々にならざるを得ない環境を整えていくことが重要。

高次の資質・能力

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
私たちの生活と市区町村 - 市区町村の様子	(1) 身近な地域や市区町村の様子	身近な地域や市区町村は、地形や交通、公共施設など様々な場所による違いがあること、時間の経過とともに移り変わってきたことなどを基に成り立っていることを理解する。	位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などの視点に着目して、市区町村の地理的環境や移り変わり、人々の生活の変化について考えたり、これからの市の発展を考えたりして、表現することができる。
	(2) 市の様子の移り変わり		
私たちの生活と市区町村 - 地域に見られる生産や販売の仕事/地域の安全を守る働き	(3) 地域に見られる生産や販売の仕事	・地域に見られる生産や販売の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることや消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めようと工夫して行われていることを理解する。 ・地域の安全を守る働きは、関係機関が相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解する。	・位置や空間的な広がり、事象や人々の相互関係などの視点に着目して、生産や販売の仕事について多角的に考え、表現することができる。 ・人々の相互関係などの視点に着目して、地域の安全を守る活動の様子について多角的に考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりして、表現することができる。
	(4) 地域の安全を守る働き		
私たちの生活と都道府県 - 都道府県の様子	(1) 都道府県の様子	自分たちの都道府県は、地形や産業など特色があることや人々が協力して特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めている地域があることなどを基に成り立っていることを理解する。	位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などの視点に着目して、県の地理的環境の特色や県内の地域の特色を考えて、
	(2) 県内の様子		

内容のまとめ

目標と内容

私たちの生活と都道府県 - 人々の健康や生活環境を支える事業/自然災害から人々を守る活動	(3) 人々の健康や生活環境を支える事業	・人々の健康や生活環境を支える事業は、地域の人々の健康な生活や生活環境の維持と向上に役立っており、地域の人々の生活を支えていることを理解する。 ・自然災害から人々を守る活動は、これまで関係機関や地域の人々が連携して対処してきたり、今後の災害に対して様々な備えをして、人々を自然災害から守っていることを理解する。	・位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などの視点に着目して、人々の健康や生活環境を支える事業について多角的に考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりして、表現することができる。 ・時期や時間の経過、人々の相互関係などの視点に着目して、自然災害から人々を守る活動の働きを多角的に考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりして、表現することができる。
	(4) 自然災害から人々を守る活動		

目標と内容に基づいた「指導と評価の一体化」(学習評価)

内の伝統や文化、先人の働き	伝統や文化、先人の働き	地域の人々の生活の向上に貢献したことを理解する。	地域の人々の生活の向上に貢献した先人の働きについて考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりして、表現することができる。
---------------	-------------	--------------------------	---

2章 健康なくらしとまちづくり

- 1 ごみはどこへ 単元
- 2 水はどこから 単元
- 3 くらしと電気 単元

3章 自然災害にそなえるまちづくり

- 1 水害に備えるまちづくり
- 2 火山の噴火にそなえて
- 3 雪の災害にそなえて

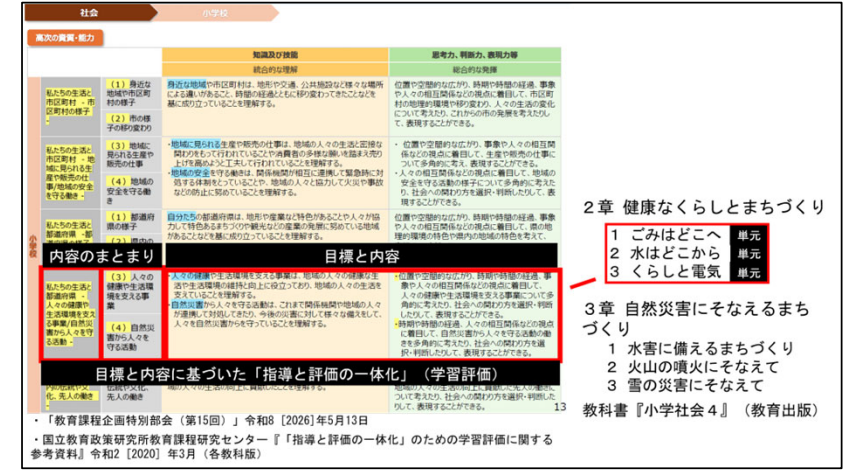
教科書『小学社会4』(教育出版)

- ・「教育課程企画特別部会(第15回)」令和8 [2026]年5月13日
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』令和2 [2020]年3月(各教科版)

# (私見)

- **単元**とは、**目標と内容のまとめり**を実際の指導や学習に落とし込んだ、あるまとめりのある学習時間や内容のこと  
(例：8時間構成で行う指導や学習)

- **単元学習**を通して、**内容のまとめり**まで評価することが求められる(=指導と評価の一体化)



- 改訂審議では、**内容**を観点(知識及び技能/思考力・判断力・表現力等)に対応させるだけでなく、**高次の資質・能力**(統合的な理解・総合的な発揮)にまで対応させて、一体的表記をしている。

- 以上のことは、単元学習が高次の資質・能力を身に付けることまで含めて扱われていることを意味する。
- 教科の本質は、内容のまとめりを総合的にまとめた**見方・考え方**として示されるものであり、それゆえ、単元を超えることが教科の本質と言うことはできても、単元を超えた学習(見方・考え方)を評価対象とまで言うことはできない。

## 単元を超えることが求められるように見える課題でも単元学習として示される例

- (小6社会) わたしたちの暮らしを支える政治 (教育出版)
  - (例) 政治のはたらきを自分のまちの中から探して考えよう
  - (例) SDGsの視点から「わたしたちの暮らしを支える政治」について考えてみよう
- (中学生の地理) 近畿地方 (帝国書院)
  - (例) 古くから商業が発達 (水の都、天下の台所)、古都としての奈良・京都の歴史・文化等
  - 小6社会 (日本の歴史) との横断

同一教科等における単元間横断はもちろんのこと、学校種を超えた同一教科、他教科、実際の社会等との横断は、単元として、あるいは単元内の学習として取り組まれている

旧来の内容のまとまりで扱えない新たな学習が必要となった時には、単元を超えるのではなく、新たな内容のまとまりを創設する

(例) 高校数学I) 社会を読み解く数学 (内容のまとまり)

(例) 中学校・高校数学I) 数学ガイダンス[仮称] (内容のまとまり新設)

### 社会を読み解く数学

算数・数学		算数 (小学校) 数学 (中学校) 数学 I (高等学校)	
高次の資質・能力			
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	
小学校	統合的な理解	社会を読み解く数学	総合的な発揮
	統合的な理解		総合的な発揮
	統合的な理解		総合的な発揮
中学校	統合的な理解		総合的な発揮
	統合的な理解		総合的な発揮
高等学校	数学 I	数理モデルは、日常生活や社会の事象を目的に応じた条件や仮定の下で数学的に表現したものであり、それをよりよい判断や意思決定に生かせることを理解する。	日常生活や社会の事象における数学的な構造に着目し、数学の問題として表現して解決するとともに、得られた結果を解釈し、その妥当性や限界を吟味して、判断や意思決定に生かす。

### 数学ガイダンス

算数・数学		数学 (中学校) 数学 I (高等学校)	
高次の資質・能力			
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	
中学校	統合的な理解	数学ガイダンス (仮称)	総合的な発揮
	統合的な理解	数学は、日常生活や社会などの様々な事象を読み解く言語であり、数量や図形、変化と関係、データと確からしさなどに着目して事象を捉え、論理的、統合的・発展的、批判的な考察を可能にすることを理解する。	事象における数量や図形、変化と関係、データと確からしさなどに着目し、判断したり説明したりするとともに、日常生活や社会と数学のかかわりや数学の概念について考察を深める。
	統合的な理解		総合的な発揮
高等学校	数学 I	数学は、人間が生活や社会の中で生まれる問いに向き合う中で創り出し、文化として継承・発展させてきたものであり、数量や図形、変化と関係、データと確からしさなどに着目して事象を捉え、論理的、統合的・発展的、批判的な考察を可能にすることを理解する。	事象における数量や図形、変化と関係、データと確からしさなどに着目し、判断したり説明したりするとともに、職業と数学のかかわりや数学の概念について考察を深める。

「教育課程企画特別部会 (第15回)」 令和8 [2026]年5月13日

## 審議まとめの方向性

- ①「個別最適な学び」は次期学習指導要領のどこに落とし込まれるか
- ②「中核的な概念」の深い理解から「統合的な理解」「総合的な発揮」へ、最後の問題点は？
- ②補足 高次の資質・能力の上限を定めよー単元を超えるか否かー
- ③ 総合的な学習・探究の改善点ー情報教育とのカップリングからマイ探究（個人探究）へ
- ④ 学習評価（観点別評価）ー学びに向かう力・人間性等を各教科等の個別水準で見取れる形式を示せるか？
- ⑤ 高校にとっての柔軟な教育課程ー義務教育段階での施策とのズレをどのように埋めるか

次回

ご視聴有難うございました  
チャンネル登録もお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。

E-mail [mizokami@toin.ac.jp](mailto:mizokami@toin.ac.jp)

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてください、回答の助けになります。  
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等

